

安全な海岸

防護

自然災害から住民の生活を守るとともに、憩いの場をつくる質の高い海岸保全施設の整備を推進するため、新たな防護形式による国土の保全や新たな景観の創造、人と海とのふれあいの場の確保など、海岸アメニティを高めることに配慮し、高潮等に対する海岸防災機能の強化を図ります。

尼崎西宮芦屋港海岸(尼崎市)

施設の老朽化に伴う改良に合わせて、耐震性の向上を図り、背後のゼロメートル地帯である尼崎市域を高潮の災害から防御しています。



改良の進む尼崎閘門

多賀海岸(津名郡一宮町)

防災活動の拠点とし、非常時における救助活動を行う自衛隊の駐屯地、被災者のための仮設住宅用地及びガレキ処理場等に利用できる広場や駐車場等の整備を行いました。



整備前(平成6年7月撮影)



整備後

福良港海岸(三原郡南淡町)

背後の低地盤地帯に密集する人家を高潮による浸水被害から守るため、排水機場等の早期完成を目指しています。



昭和55年9月の高潮被害状況



福良第2排水機場と水門

尼崎西宮芦屋港海岸(芦屋市)

親水性護岸への改良に併せて護岸基礎部の補強、堤体の緩傾斜化と土留め矢板の施工により耐震性の向上を図っています。



自然と共生する海岸

環境

瀬戸内海国立公園や山陰海岸国立公園など、恵まれた自然環境との調和のとれた海岸整備を進めるとともに、環境保全機能を有する砂浜のを保全・創造を図ります。

東播海岸(明石市)

ウミガメの産卵が確認されている明石西部工区は平成8年度「エコ・コースト事業」の指定を受けました。

今後さらに養浜を推進しウミガメの産卵区域の拡大と保全を図っていきます。



ウミガメの産卵



明石市林崎より西をのぞむ



ウミガメの産卵場所の確保

竹野海岸(城崎郡竹野町)

山陰海岸国立公園など、恵まれた自然環境と調和のとれた海岸整備を進めるとともに、環境保全機能を有する砂

浜の保全・創造を図っています。



侵食された海岸線(昭和44年5月撮影)



離岸堤等の設置による砂浜の復元(平成7年撮影)

慶野松原海岸(三原郡西淡町)

白砂青松の名勝として知られる当海岸は、近年侵食による汀線後退に対し、人工リーフを設置し景観を損ねることなく砂浜の維持を図っています。また人工リーフは魚が集り魚礁としての効果を発揮しています。



人工リーフの位置



人工リーフに群がるメバル

利用され親しまれる海岸

利用

新しい海浜地の創出や、海辺プロムナードを整備し、だれもが気軽に海と親しみながら、憩い・集うことのできる豊かで魅力ある海岸空間を形成します。

尼崎西宮芦屋港海岸(尼崎市)

尼崎港区内の運河、水路を市民や港湾利用者にとって快適で魅力ある地域とするため、「運河水路活性化基本計画(リフレッシュポートあまがさき)」に基づいた整備を推進しています。



整備前



整備後(平成8年5月撮影)



整備の進む北堀運河周辺



利用される北堀運河周辺

相生港海岸(相生市)

花火大会やペーロン祭りが行われる水域に面した護岸の緩傾斜化や修景化を行い、現在ペーロン護岸として親しまれています。ここでは、高齢者や障害者に配慮した施設整備を行い、バリアフリー海岸の形成を図っています。



整備前(平成4年3月撮影)



整備後のペーロン護岸(平成10年4月撮影)

坂越港海岸(赤穂市)

天然記念物の「生島」などがあり、風光明媚な景観を形成していますが、高い護岸や消波ブロックにより海岸へのアクセスが困難であるため、防潮機能を保ちつつ、親水性を高める整備を進めています。



整備前(平成4年10月撮影)



整備中(平成12年2月撮影)

浦港海岸(津名郡東浦町)

海浜と隣接する公園との間の護岸を緩傾斜化することにより、

互いを機能的に結ぶとともに、高齢者や障害者が気軽に海に近づけるよう整備しバリアフリー海岸を形成します。



整備前(平成2年7月撮影)



整備後
高齢者・身障者等の利用に配慮したスロープ



西島海岸(飾磨郡家島町)

自然の中で様々な体験を通じて心のふれあいを深めることを目的とした「兵庫県立母と子の島」と一体に整備しています。